



ふくしまみんぼう



福島民報社はSDG MEDIA COMPACTに加盟しています。

# 福島県でNo.1、東北ではNo.2の発行部数

福島民報社は東北6県では河内新報(宮城県)に次ぐNo.2、福島県内では22万部を発行する福島県を代表する新聞社です。

2022年に創刊130周年を迎え、震災・原発事故以降「地域づくり会社」として取り組んできた「人づくり」「産業づくり」「健康づくり」をさらに進めるとともに、「SDGsの推進」により持続可能な福島を目指した地域づくりには紙面や事業を通して取り組んでいます。

## 多彩な事業やスポーツイベントで地域を元気に

SDGs普及啓発事業や、新聞出前講座、音楽イベント「風とロック芋煮会」やスポーツイベント「ふくしま駅伝」「ツールドふくしま」を主催しています。

サッカーJ3(福島ユナイテッド)、バスケットBリーグ(福島ファイアーボンズ)、野球BCリーグ(福島レッドホープス)、バレーボールVリーグ(デンソーエアリービーズ)と連携しています。

## 公正で正確、迅速な報道。革新的手法を展開する広告

日本新聞協会の新聞協会賞では、編集部門は2度受賞。広告部門は新聞広告賞を単独で2回、共同で1回受賞、奨励賞は11回受賞。広告電通賞では総合賞を1回受賞。全日本広告連盟鈴木三郎助賞で大賞と奨励賞を各1回受賞、ほかにもACC、カンヌライオンズ、JAA広告賞など多数受賞。最大40頁、カラー24頁の多彩な表現で先鋭的な情報発信を続けています。

# 福島県内No.1を誇る発行部数

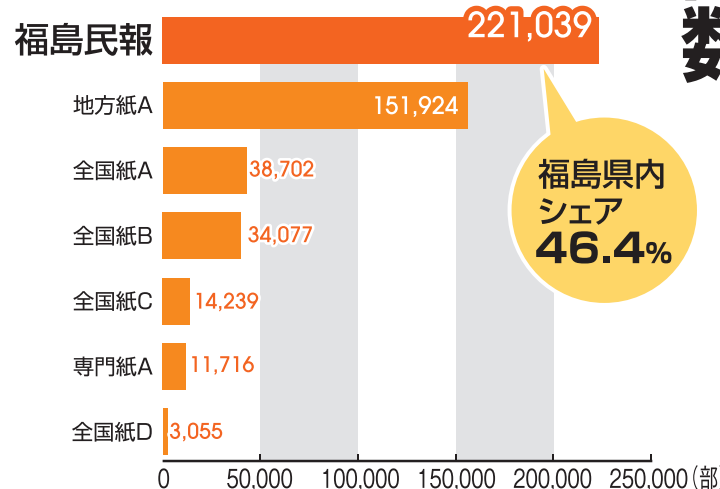
(2023年4月)



福島民報社キャラクター 伝次郎

福島県	人口	1,772,447人	福島市	276,155人
	世帯数	749,720世帯	会津若松市	113,271人
			郡山市	322,232人
			いわき市	322,441人
			令和5年6月1日現在	

宮城県	人口	2,268,355人	世帯数	1,023,972世帯
	河北新報発行部数	382,997部		
			令和4年1月1日現在	



福島県は北海道、岩手県に次ぐ全国で3番目に広い面積を誇り、雄大な自然と美味しい食べ物が魅力。県内は大きく3つのエリアに分かれており、風土、文化、気候も違うそれぞれの魅力があります。



### 会津地方

風光明媚な「猪苗代湖」や「磐梯山」など様々なアクティビティが楽しめる大自然、「鶴ヶ城」や「大内宿」など江戸～幕末の風情を残した景観、寺社仏閣などの名所旧跡、全国新酒鑑評会で9年連続日本一となった日本酒の酒蔵が数多く点在し、大河ドラマ「八重の桜」の主人公「新島八重」を始め、千円札の肖像で有名な医学博士の「野口英世」など多くの偉人のふるさどです。



### 中通り

『ふくしまの桃源郷』とよばれる「花見山」や日本三大桜の「三春滝桜」、美人の湯として名高い「磐梯熱海温泉」を始め、「高湯温泉」、「飯坂温泉」、戊辰戦争の舞台の1つ、二本松の「霞ヶ城」や白河の「小峰城」を始め、日本最古と言われる「南湖公園」など、多くの魅力的なスポットが点在します。また、あづま球場で東京2020オリンピックの野球・ソフトボールの試合を行ったのも記憶に新しいです。



### 浜通り

一千有余年の歴史を誇る神事「相馬野馬追」、「塩屋崎灯台」や「環境水族館アクアマリンふくしま」、「いわき・ら・ら・ミュウ」などの施設や「スパリゾートハワイアンズ」のフラガール、復興の象徴として再開し、聖火リレーのスタート地点となった「Jヴィレッジ」と見所がいっぱい、「常磐もの」と呼ばれ品質に定評のある海産物。復興への歩みをすすめ、風評被害にもまけない元気なエリアです。

(福島県観光情報サイトより)



# 福島民報社の過去実施した新規事業の取り組み

福島民報社で過去に実施した新規事業で継続しているもの、終了したもの、実施に至らなかったものの一例です

## 高校生に新聞を送ろう事業

県内の私立高校に新聞を送り、学校で活用してもらう事業を実施。専用の新聞ラックに協賛スポンサーのロゴを掲出。2017年より継続中。

実施中

## HR広告

WEB検索連動型求人広告をパートナー企業と連携し、2022年より求人広告販売を開始、継続中。

実施中

## クラウドファンディング（購入型）

2017年から運用を開始、一定の成果は上げつつも大きな収益を生まなかったため2023年終了予定

終了  
予定

## M & A 企業紹介事業

福島県内でM&Aに関するセミナーを実施。参加した企業で売買が行われた場合に仲介手数料を受け取る事業を実施。いまだ実施事例がない。

終了  
予定

## 不動産仲介業事業

空き家・土地活用 不動産を紹介し、紹介料をもらう取り組みを大手ハウスメーカーと実施に向けて協議を行っていたが、コロナ禍で一度ペンディングに。実施には至っていない。

実施  
せず

## 民報テスト事業

古くは新聞社各社が行っていた学力テストを2021年に復活させようと思ったが、競合社も多く、復活を見合わせた。

実施  
せず